

予算	款	項	目	決算書
	6	4	3	236 頁

目名
林業施設管理費

事業名称
林業施設管理事業

1. 概要

目的	適正な維持管理	対象	利用者
事業概要	<p>○林業施設管理事業・・・施設の維持管理費 長谷川集会所・・・林業構造改善事業補助金により平成2年に建設。 H23年度より、嘱託職員の勤務日数を週3とした。 H27年度より、地元協議会に譲渡。</p>		

臨/経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	使用料	一般	
経常	林業施設管理事業	適正管理	報酬	2,724	2,307			31	2,276	1
計				2,724	2,307	0	0	31	2,276	

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正管理		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			H26	施設の適正管理を行う		
活動指標	指標	a	管理業務	b	利用状況	c		d
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
適正管理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 管理業務	日	260 日	260 日	260 日
b 利用状況	日	96 日	95 日	76 日
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
H26年度地元貸付。
対応（改善点等）
H27年度譲渡。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

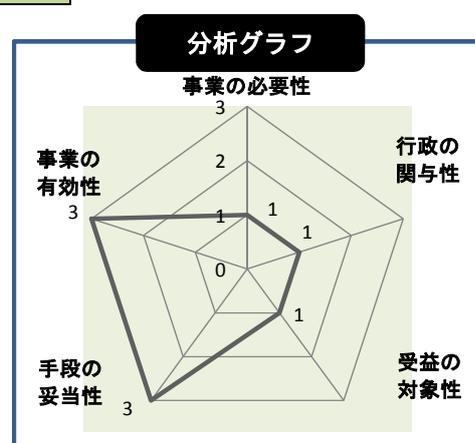
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		2,221	1,845	2,307	—
うち経常経費		2,221	1,845	2,307	
財源内訳	国費				—
	県費				—
	市債				—
	その他	60	28	31	—
	一般財源	2,161	1,817	2,276	—
うち経常		2,161	1,817	2,276	
事業費に係る人件費		860	859	872	—
事業費に係る人役		0.20	0.20	0.20	—

6. H27年度予算の方向性

方向性
予算措置なし
理由
地元に譲渡するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	1 長谷川地区には必要な施設であるが、社会情勢の変化により見直しが必要。
② 行政の関与性	責任領域の精査	1 利用状況等を考え適正な管理を行う。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 長谷川地区には必要な施設であるが、利用者は限られた範囲となるため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 地元に貸付。(H27年度地元譲渡)
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 地元に貸付。(H27年度地元譲渡)



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
廃止	公共施設の見直し方針に則り事務を進めること。